

宮城県感染症発生動向調査情報(第50週)

宮城県【平成26年12月18日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2014.12.8 ~ 12.14 ・ 第50週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所						仙 台 市				宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第47週	第48週	第49週	第50週
水痘	9 1.80	8 0.80	8 1.60	2 1.00	5 1.67	1 0.20		60 2.31	93 1.60	2,193	◎ →	◎ →	○ →	○
流行性耳下腺炎		1 0.10		1 0.50	4 1.33			10 0.38	16 0.28	659	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	39 7.80	53 5.30	18 3.60	26 13.00	14 4.67	24 4.80	36 18.00	193 7.42	403 6.95	17,289	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病		14 1.40					6 3.00	3 0.12	23 0.40	522	○ →	レ →	→	
伝染性紅斑	12 2.40	9 0.90	21 4.20	2 1.00	6 2.00	14 2.80		48 1.85	110 1.90	2,698	◎ →	◎ →	◎ →	◎
突発性発しん	1 0.20	6 0.60	5 1.00	2 1.00	4 1.33	8 1.60	4 2.00	18 0.69	48 0.83	1,933	○ →	○ →	○ →	○
ヘルパンギーナ		1 0.10	1 0.20				3 0.60	1 0.04	6 0.10	2,439	→	→	→	
インフルエンザ	99 12.38	103 6.87	114 14.25	5 1.67	9 1.80	17 2.13	8 2.00	333 7.93	688 7.40	30,047	→	○ →	◎ →	◎
咽頭結膜熱	1 0.20	3 0.30		2 1.00		5 1.00		23 0.88	34 0.59	714	→	→	→	○
流行性角結膜炎		5 1.67				1 1.00		4 0.67	10 0.83	173	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12 2.40	25 2.50	5 1.00	21 10.50	2 0.67	23 4.60		118 4.54	206 3.55	5,817	◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎							1 1.00	1 0.20	2 0.17	416	→	→	→	
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	51 10.20	48 4.80	22 4.40	4 2.00	2 0.67	20 4.00		133 5.12	280 4.83	1,588	◎ →	◎ →	◎ →	◎
拡張疾病											◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
不明発疹症		1						3			【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※				1					53					

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
- 2類感染症: 結核
- 大崎管内 女性1名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O86a)
- 大崎管内 男性1名
- 4類感染症: E型肝炎
- 仙台管内 男性1名
- レジオネラ症
- 仙南管内 女性1名
- 5類感染症: 梅毒
- 仙台管内 女性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 7例

今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

- 【伝染性紅斑】
仙南、大崎、登米、石巻管内で警報継続中。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】
栗原管内で警報値を超えた。
- 【インフルエンザ】
仙南、大崎管内で注意報値を超えた。

【病原体検出情報】

～保健環境センター～

インフルエンザ集団発生事例より

大崎管内	第50週採取分	インフルエンザウイルスAH3	5件
仙南管内	第49週採取分	インフルエンザウイルスAH3	5件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第48週採取分 (11.24～11.30)	第48週採取分 (12.1～12.7)	第49週採取分 (12.8～12.14)
バラインフルエンザウイルス1型	0件	1件	0件
バラインフルエンザウイルス2型	1件	1件	0件
バラインフルエンザウイルス3型	0件	1件	0件
バラインフルエンザウイルス4型	1件	1件	0件
RSウイルス	8件	4件	10件
アデノウイルス	3件	0件	0件
単純ヘルペスウイルス	1件	1件	0件

【インフルエンザ】
仙南、大崎管内で患者報告数が注意報値(1定点当たり10人)を超えたため、県は本日「インフルエンザ注意報」を発令しました。先週に比べ、県全体での報告数が倍増しており、学校等の臨時休業も多数報告されております。今後流行が急速に拡大する可能性があるため、十分な注意が必要です。

【RSウイルス感染症】
仙南管内で流行が継続しており、また仙台医療センターウイルスセンターでも検出されていることから今後の動向に注意が必要です。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2014年 第47週		21.1	42.1	26.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0	19
第48週		12.2	47.0	15.7	5.2	6.1	4.3	3.5	1.7	3.5	0.0	0.9	115
第49週		12.7	34.4	32.1	2.7	2.0	5.0	1.7	4.7	2.7	1.0	1.0	299
第50週		11.8	33.0	32.6	4.4	2.0	6.7	4.2	2.3	1.5	0.9	0.7	688

インフルエンザ定点
インフルエンザ定点とは、小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で93定点(県:51、仙台市:42)となっています

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第48週)

(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は岩手県(6.20)、福島県(2.76)、神奈川県(1.96)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は36例と前週と比較して増加し、19都道府県から報告があった。**RSウイルス感染症**: 報告数は5,151例と2週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約67%を占めている。**咽頭結膜熱**: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では北海道(2.19)、富山県(1.52)、三重県(1.31)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では北海道(4.45)、岩手県(4.18)、福岡県(4.08)が多い。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では大分県(19.58)、香川県(15.10)、福岡県(14.28)が多い。**水痘**: 定点当たり報告数は第39週以降増加が続いている。都道府県別では山形県(2.57)、長野県(2.11)、新潟県(2.03)が多い。**百日咳**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(0.12)、山形県(0.07)、千葉県(0.05)が多い。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では富山県(1.80)、石川県(1.60)、栃木県(1.14)が多い。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 定点当たり報告数は増加した。5道県から8例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(5例)、5～9歳(1例)、10代(1例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数